

2022 年 11 月 7 日  
ニッセイアセットマネジメント株式会社

**会社四季報オンラインに当社投資工学開発センター長吉野貴晶の寄稿文が掲載されました**

**有望銘柄の選別に役立つ「売り上げ」と「在庫」の重要視点**

「売り上げ」と「在庫管理」は企業活動における基本中の基本です。投資家が投資対象とする銘柄を選ぶ際には、この 2 つの要素を確認しておくことが必要な“評価軸”なのです。

今回は売り上げと在庫サイクルから、企業活動の状態を【1】売り上げ「増」、在庫「減」、【2】売り上げ「増」、在庫「増」、【3】売り上げ「減」、在庫「増」、【4】売り上げ「減」、在庫「減」の 4 つのステージに分類して、有望銘柄の選別する手法を取り上げました。

<https://shikiho.toyokeizai.net/news/0/629074>

吉野 貴晶（よしの・たかあき）／ニッセイアセットマネジメント 投資工学開発センター長。金融情報誌「日経ヴェリタス」アナリストランキングのクオンツ部門で、記録的となる 16 年連続で 1 位を獲得したあと、ニッセイアセットマネジメントに入社。大学共同利用機関法人 統計数理研究所のリスク解析戦略研究センターで客員教授を兼任。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科（MBA コース）で経営戦略、企業評価とポートフォリオマネジメントの授業の教鞭も取る。代表的な著書に『No.1 アナリストがプロに教えている株の講義』（東洋経済新報社、2017 年）。